

令和5年度 第1回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月23日（火） 14時00分から16時08分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 高倉 学、武田 則治、佐々木 聡、長谷 寿美子、名倉 招司、河合 郁美、田中 朋子、北村 健二、高倉 毅文
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（北部協働センター長）、嶋田 哲也（北部協働センター）
新田 浩一（花川町自治会長）、北村 敏治（西丘町自治会長）
- 6 学校 白井 伸博（校長）、宮崎 幸治（教頭）、中村 好明（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から高倉委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された高倉委員から、武田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 会長あいさつ

次の3点を令和5年度の目標にしたいと思います。

- ・ 学校・家庭・地域で一緒に子供を育てる必要性と共に、役割分担も大切で、その旨を整理し、家庭・地域に発信していきたい。
- ・ 運営協議会での活動を、それ以外の保護者・地域に伝えていきたい。
- ・ 学校・家庭・地域で一緒になって子供を育てる活動を発信して、広く参加する人を増やす取り組みに協力していきたい。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 令和5年度学校運営に関する基本的な方針の確認について
- (2) いじめ防止等のための基本方針について

13 会議記録

司会の宮崎（教頭）から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和5年度学校運営に関する基本的な方針の確認について

議長の指示により、白井（校長）から、別紙資料に基づき令和5年度学校運営に関する基本的な方針の確認について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 学校に来る機会が多いため、先生との距離が近くなった。また、子供たちとも接することが増え、あいさつをよく返してくれる。学校支援活動が、親も子供も知らないつながり成り立っていることが分かった。読み聞かせを楽しみにしている子供もいるので、これからもがんばっていきたい。（田中委員）
- ・ 先生と児童の距離が近い学校でいいなと思った。上の子供も中学校に入り少しずつ友達も増えていって、グランドデザインの人とかかわる力がついたと思った。（北村委員）
- ・ 安全ボランティアをしているが、児童は元気に登校している。小規模校から大規模校へ行

ったときなかなかなじめない子供がいる。子供が集まる行事をつくり、地域で子供を見守る活動をしていきたい。(高倉毅委員)

- ・ 生きる力が大切で、それを学校が中心にとらえていることがすばらしい。(長谷委員)
- ・ すれ違った1年生の児童からあいさつを受けた。とてもうれしく感じた。(名倉委員)
- ・ 学校支援のボランティアの広げ方を工夫していきたい。(佐々木委員)
- ・ 先生の働き方改革も考えていかないといけない。(高倉毅委員)
- ・ 学校にはいろいろな児童がいるので、担任以外の者もバックアップしている。ボランティアの方がいれば助かる。(白井(校長))
- ・ ボランティアをしていただいている方と先生方との話し合いの機会を設けたいと考えている。第2回の学校運営協議会をそれに充てたいと思っている。(高倉学委員)
- ・ ボランティアをやらせていただいているが、いろいろな児童がいるので、人がたくさん欲しい時がある。特に、花壇ボランティアは若い人が欲しい。(河合委員)
- ・ 先生と保護者の意見を合わせてほしい。子供は何を信じれば良いのかわからなくなってしまう。(新田(花川町自治会長))

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本方針について

議長の指示により、宮崎(教頭)から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 元はどこから降りてきたのか。内容は市内統一か。(佐々木委員)
- ・ 元は市からおりてきた。基本的な考え方は同じで、それぞれの学校にあった年間計画を作成し、取り組んでいる。(宮崎(教頭))
- ・ いじめの問題は、学校の基本方針に沿って、地域・家庭・学校で取り組んでいかなければならないことだと思う。(高倉学委員)
- ・ 学校では、定期的なアンケート・本人あるいは家庭からの相談などで早期発見をし、できるだけ早く対応している。子供との関係が大切になってくる。(白井(校長))
- ・ いろいろ大変な地域もあるようだ。(北村(西丘町自治会長))
- ・ いじめの問題では、縦割り活動が効果的であると聞く。また、道徳の授業(モラルの問題)も大切になってくると思う。(佐藤(北部協働センター長))

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

14 報告

(1) 学校支援活動について

司会の指示により、佐々木委員から、別紙資料に基づき学校支援活動について報告があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ ボランティアの内容が分からないので、参加しにくい所があると思う。(名倉委員)
- ・ 行う内容が分かれば参加しやすいと思う。(高倉毅委員)
- ・ 読み聞かせボランティアの説明を入学式の時にしたら、興味を持ってもらえて、人数が増えそうである。(田中委員)
- ・ 行っている内容を知らせていく必要がある。(佐々木委員)
- ・ 横のつながりで広げていくことも必要になってくる。(高倉学委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年8月8日(火)午後1時30分から2階会議室で開催する旨の報告があった。